



あぐりあす

第271号

令和4年2月28日発行
久慈農業改良普及センター
経営指導課：0194-66-9684
産地育成課：0194-66-9683
地域指導課：0194-53-4989
FAX：0194-53-5009



～ 掲 載 内 容 ～

ページ

1. 久慈地域の情報

○水稲の肥料費低減実証の紹介

・・・ 1

- ・水稲のコスト低減に向け、地域資源「豚ふんペレット」を化学肥料と代替し、肥料費と化学肥料の利用量を大幅削減できるという結果が得られました。
- ・水稲のコスト低減には、今回紹介した事例のほかにも、病気に強い品種を作付けることにより農薬費の低減を図ることや土壌診断に基づく減肥により肥料費を低減させることなど方法があります。各々が実施できる対策を行い、栽培を継続していきましょう。

○新たに2名の農業農村指導士を認定!!

・・・ 2

- ・大芦博之さん、田村憲史さんの2名が岩手県農業農村指導士に認定されました。

○久慈地方農業振興大会が3年ぶりに開催されました

・・・ 3

- ・「令和4年度久慈地方農業振興大会」が久慈地方農業農村活性化推進協議会の主催で、関係機関・団体、生産者約160人が参加し、3年ぶりに開催されました。

○普及現地情報

・・・ 4

- ・産直はどうする？インボイス研修会を開催！
- ・新しい品目にチャレンジ！園芸品目栽培説明会を開催しました！
- ・元気な園児が今年も収穫！宇宙寒じめほうれんそう
- ・半促成アスパラガス実績検討会が開催されました！

水稻のコスト削減に取り組みましょう!!

令和4年からの肥料・農薬価格の高騰→コスト低減が必要
⇒コスト低減の方法

- ・堆肥の施用により、地力の向上に努め、化学肥料を減らして肥料費の削減に努めましょう。
- ・土壌診断により基肥のリン酸やカリを減肥できるのであれば、化学肥料を減らして肥料費の削減に努めましょう。
- ・穂いもち病に強い「いわてっこ」を作付け、農薬費（穂いもち剤）の削減に努めましょう。

みなさんもできることから取り組みましょう。

地域資源「豚ふんペレット」の普及実証

実証担当 農事組合法人 宇部川ファーム

R4 小規模実証（60a）の結果

○化学肥料の使用量が大幅減⇒単収は約5%低下
⇒でも、肥料費6割削減の可能性

試験区	施肥体系 (t/ha)		収量 (%)	肥料費 (%)	備考
	豚ふんP	化学肥料			
慣行区	無施用	0.40	100	100	
実証区	<u>2</u>	0.20	95	38	化学肥料の使用量を約5割削減
参考区	4	無施用	90	12	化学肥料は無使用

豚ふんペレット

株式会社 のだファーム（野田村）で
R3 から生産・販売
全窒素 4.23、リン酸 8.34、
カリ 3.02（乾物当たり%）を含む



R 5 普及に向けた大規模実証（30ha）の予定

実証期間中に現地研修会を開催する予定なので、ぜひ現地で生育を確認してください。（興味ある方は普及センターへ照会ください）

- 肥料費削減効果の実証（R 4年の実証結果を参考に設計）
- 化学肥料の5割以上減、全量削減（R 7）に向けた取組

	試験区	施肥体系 (t/ha)		収入の変動①（千円 /ha)			肥料費 ② (千円 /ha)	効果 (①と ②の比 較差) (千円 /ha)
		豚ふん P	化学 肥料	販売 額	交付 金	合計		
主食用米 4 ha	慣行区	無施用	0.40	840	0	840	128	—
	実証区	2	0.20	798 ▲42	0	798 ▲42	48 +80 効果	+38 千円
粳米サイ レージ 26ha	慣行区	無施用	0.40	120	800	920	151	—
	実証区	2	0.20	114 ▲6	800	914 ▲6	48 +103 効果	+97 千円

期待される効果

豚ふんPへの切り替えによる**肥料費の大幅削減**
 $38\text{千円} \times 4\text{ ha} + 97\text{千円} \times 26\text{ha} = 2,674\text{千円}$

担 当

久慈農業改良普及センター

技術主幹兼産地育成課長 中西 商量

TEL : 0194-66-9683 FAX : 0194-53-5009

新たに2名の農業農村指導士を認定！！

令和5年度2月2日に岩手県農業農村指導士認定書交付式が行われ、大芦博之さん、田村憲史さんの2名に岩手県農業農村指導士認定証書が交付されました。当日の式を欠席されたため、令和5年2月14日、久慈地区合同庁舎にて、今年度新たに認定された2名に岩手県農業農村指導士認定証書が手渡されました。

その後に開催された、久慈地域農業農村指導士等連絡会総会・研修会の中で、令和2～4年度に認定された先輩方とともに、今後の抱負など語っていただきました。

新規認定者を2名迎えた同連絡会は農業農村指導士13名、青年農業士4名、計17名の組織となり、今後の活躍が期待されます。



おおし ひろゆき
大芦 博之さん (久慈市 農業農村指導士)

【経営内容】酪農

【経歴および実績】高校卒業後、北海道での1年間の研修を経て平成元年に就農し、酪農経営を行っています。遊休農地等を活用した自給飼料の増産により、コスト削減、地域農地の荒廃防止及び優良農地の維持に取り組むほか、衛生管理の徹底により、乳量の増加、乳成分の向上に努めています。

組織活動では、平成26年まで久慈乳牛改良同志会会長を務め、現在は久慈市たい肥センター利用組合や陸中ホルスタイン改良同志会の役員として活躍しています。

【将来への意向】

自家保留を行うことで規模拡大を図りつつ、後継者に経営継承できる経営を行いたい。また、地域の酪農家との連携等含め、地域農業の振興に貢献したい。研修についても積極的に受入を行っていきたい。



たむら けんじ
田村 憲史さん (久慈市 農業農村指導士)

【経営内容】酪農

【経歴および実績】平成16年に大学を卒業後、同年に有限会社田村牧場に就農し、牧場長を経て令和2年から同社監査役に就任しました。平成25年に設立された農事組合法人久慈平岳牧場で牧場長を務め、同法人が株式会社久慈平岳牧場へ移行後、平成29年から同社代表取締役となっています。

組織活動では、平成26年から陸中ホルスタイン同志会役員を務めているほか、平成27年から令和3年までは青年農業士として活躍していました。

【将来への意向】

久慈地域農業の柱である酪農の担い手として、さらなる技術の向上と経験の蓄積に努め、産地の一層の振興に貢献したい。「小さくて作業効率のよい健康な牛」の改良を継続し、生乳生産量の向上を図るとともに、地元雇用も創出したい。今後も、視察や研修受け入れ等を通して、後進の育成にも尽力したい。



■久慈地方農業振興大会が3年ぶりに開催されました

「令和4年度久慈地方農業振興大会」が久慈地方農業農村活性化推進協議会の主催で、生産者ら約160人が参加し、3年ぶりに開催されました。

2月16日、久慈市民文化会館アンバーホールを会場に開催され、遠藤譲一会長が「新型コロナの影響や資材高騰など厳しい情勢の中ではあるが、生産者、関係機関・団体が一体となり農業振興を図り、産地力強化、地域活性化に取り組み、若い方が参画できる魅力ある農業の確立に取り組もう」と呼びかけました。

表彰では、「久慈地方農業表彰」4経営体、「畜産優秀者表彰」10経営体、「園芸生産拡大者表彰」12経営体の計26経営体が受賞しました。

弘前大学大学院の平井教授の講演では、「農村RMOに期待される役割」と題して、国の日本型直接払いにおける集落協定と既存の集落の自治組織や生産組織などを一体的に運営していく農村RMOについてお話いただきました。



▲「明日を拓く担い手賞」を受賞した大鹿糠和也さん(中央)、中野琢磨さん(右)

受賞者の皆さん、おめでとうございます。今後の益々のご活躍を期待します。

【久慈地方農業表彰 受賞者】

「明日を拓く担い手賞」

大鹿糠和也さん(久慈市、菌床しいたけ)
中野琢磨さん(野田村、菌床しいたけ)

「意欲ある担い手賞」

栃元昇さん(久慈市、肉牛繁殖)
清水繁勝さん(洋野町、酪農)

【畜産優秀者表彰 受賞者】

「県北広域振興局長賞」「酪農部門最優秀賞」

堤内武人さん(洋野町)

「酪農部門優秀賞」

有限会社 石川牧場(普代村)

「全農岩手県本部長賞」「黒毛部門最優秀賞」

奥寺信真さん(洋野町)

「黒毛部門優秀賞」

北村善太郎さん(洋野町)

「新岩手農業協同組合長賞」「短角部門最優秀賞」

下舘進さん(久慈市)

「短角部門優秀賞」

向畑光正さん(久慈市)

「久慈地方和牛振興特別功労賞」

あさひ号(久慈市、栃元昇さん)

【園芸生産拡大者表彰 受賞者】

「県北広域振興局長賞」「販売最優秀賞」

有限会社 越戸きのか園(久慈市、菌床しいたけ)

「全農岩手県本部長賞」「販売増加率最優秀賞」

大鹿糠和也さん(久慈市、菌床しいたけ)

「品目別販売最優秀賞」

北村喜美雄さん(洋野町、ほうれんそう)

久保田正治さん(洋野町、きゅうり)

明内伸一さん(野田村、花き)

中居昭彦さん(普代村、乾しいたけ)

生平祝子さん(久慈市、菌床しいたけ)

「市町村別優秀賞」

長坂信一さん(久慈市、ほうれんそう)

長谷川康成さん(洋野町、菌床しいたけ)

崎廣友勝さん(野田村、ほうれんそう)

橋本将太さん(普代村、菌床しいたけ)

産直はどうする？インボイス研修会を開催！

産直組合のインボイス制度理解促進のため、久慈地域産直連絡協議会が「消費税のインボイス制度についての研修会」を12月12日に開催し、加盟産直の会員8名が熱心に学びました。

当日は久慈税務署員を講師に、「インボイス制度の概要」や「産直向けのインボイス制度への対応」などについて講義をいただきました。

講義の中では、仕入税額控除を受けようとするお客様から産直に対して「インボイス(適格請求書)」を求められる場合があることの説明を受けました。更に「インボイス制度への事前準備の基本項目チェックシート」などを活用し、登録要否の判断の考え方やインボイスを求められた時の産直の対応について例を挙げてご指導いただきました。

参加者からの「組合員全員にインボイスを取得してもらった方がよいのか？」という質問に対しては、「チェックシートを参考にお客様に合った対応を検討して欲しい」といったアドバイスがありました。

各産直によって制度への対応が異なることが想定されることから、普及センターでは、管内産直にマッチした対応が行われるよう今後も支援をしていきます。



熱心に受講する参加者

普及現地情報
令和5年2月6日
久慈農業改良普及センター
記述者 菅野 千聖

新しい品目にチャレンジ！ 園芸品目栽培説明会を開催しました！

新たな園芸品目生産者の確保に向け、令和5年1月16日から4日間8会場で開催し、野菜部会員や産直会員などの新規栽培希望者55名が熱心に説明を聞きました。

久慈農業農村活性化推進協議会の主催したこの会では、久慈管内で増やしていきたい品目である、ほうれんそう、寒締めほうれんそう、きゅうり、ピーマン、ブロッコリー、半促成アスパラガスの6品目について説明しました。説明会では普及センターから栽培方法や収益性等を、JAからは開催した地域の園芸品目の栽培状況などを説明し、市町村からは園芸品目の作付けに向けた事業について情報提供がありました。

参加者からは、既に栽培している品目との組み合わせが可能かどうか、実際に出荷する時の方法や注意点などについて質問があり、新規品目栽培への意欲が伺えました。

今後も、新規に園芸品目の栽培を希望する人に対して、関係機関と連携しながら個別支援を実施していきます。



園芸品目栽培説明会の様子

元気な園児が今年も収穫！宇宙寒じめほうれんそう

普代はまゆりこども園の年長組園児13名が、令和4年度に引き続き東北復興ミッション2021により国際宇宙ステーションから地球に戻った種から寒じめほうれんそうを育て、2月に収穫しました。

栽培を担当したマルハ農園の中村氏が、寒じめほうれんそうの糖度が一般的なイチゴと同等の12度で、とても甘いことと収穫の仕方を説明しました。園児たちは、一株を刈り取るとコツをつかんだようで、次から次へと収穫し、あっという間に採り終わりました。収穫した寒じめほうれんそうは翌日の給食で提供予定となっていることから、園児たちはメニューに期待を膨らませていました。

このような農業体験を通じて、農作業の楽しさを次世代に伝えていく取組をこれからも支援していきます。



収穫方法について説明を受ける園児の様子

半促成アスパラガス実績検討会が開催されました！

農業者の所得向上のため、ほうれんそうの空きハウスを活用したアスパラガスの半促成栽培の導入に向けた検討会を開催し、実証農家3名と関係機関・団体が熱心に検討しました。

これまでの栽培経過及び販売実績について、令和5年1月24日に久慈地区合同庁舎で、実証農家らと共有しました。

普及センターからは、発生した病害とその対策、春先の保温管理などのこれからの栽培管理の注意点を説明しました。

実証農家は、「出荷先である産直の消費者から美味しいと評判で嬉しかった。」「楽しく栽培できた。」とコメントし、アスパラガスの半促成栽培に手応えを感じているようでした。

今後は、地域に定着する品目となるよう関係機関・団体と連携しながら導入を支援していきます。



栽培経過を振り返る実証農家3名（写真右）

電子メールを活用した農業情報のサービスを行っています

久慈農業改良普及センターでは、農作物技術情報、台風や気象災害などへの注意情報、病害虫に関する情報、スマート農業に関する情報などをタイムリーに入手することに役立つメール配信をしています。

ご自身のメールから ce0026@pref.iwate.jp (普及センター組織アドレス) まで「氏名」、「住所」、「電話番号」を送信していただければ、いつでも登録できます。登録すれば久慈農業改良普及センター(地域 ML)からだけでなく、県(県 ML)からも情報が配信されます。

これまでに県から配信した内容は、次のような内容です。

- ・令和4年度 病害虫防除速報(水稻、野菜、果樹、花きなど)
- ・令和4年度農作物技術情報(毎月、号外あり)
- ・令和4年度 農作物病害虫発生予察情報
- ・産地情報「産地紹介・人物紹介」(毎月)
- ・県からのお知らせ(イベント案内、研修会案内など)

今後も随時、情報発信していきますので、ぜひご利用ください。

～いわてアグリベンチャーネット掲載記事の紹介～

いわてアグリベンチャーネットでは、毎月、各地域の農業情報をお知らせしています。

【11、12、1、2月分の掲載記事】

○産地紹介:《宮古》産地情報「復興農地で生産した十割そばをお届けします

『はなや蕎麦たろう』店主 小林 智恵子さん」

:《八幡平》産地情報「日本一のりんどう産地、その取り組みと新しいスタート」

:《中部》産地情報「自家栽培・自家醸造のワインをお届け！

大迫佐藤葡萄園 佐藤直人さん」

:《大船渡》産地情報「川の駅産直よこたに来てけらっせあ！」

○人物紹介:《盛岡》人物紹介「丁寧な仕事で美しいりんどう作り 武田奈美恵さん」

:《二戸》人物紹介「従来のイメージを超えた農家を目指して 坂本裕輝さん・悠綺さん」

:《宮古》人物紹介「佐々木雄哉さん 畑わさびに革命を！ 岩泉町の新たな担い手」

:《奥州》人物紹介「すてきなあの人 奥州市 高橋千鶴子さん」

○『普及活動年報』県内各地域の普及センターの取組を紹介します。

下記の URL、または右の QR コードからご覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/index.html>



久慈農業改良普及センターfacebook 公開中！

久慈寒次郎が、最新の情報や、HOT な情報をお届けします。

下記の URL、または右の QR コードからご覧ください。

<https://www.facebook.com/岩手県久慈農業改良普及センター-581601925540151/>

